

新潟県女性センター情報 No.74

2009. 7. 21発行

ひと ひと にいがた女と男フェスティバル

去る6月27日(土)に新潟ユニソンプラザを会場に、「にいがた女と男フェスティバル 2009」を開催しました。午前中は、県内で活動する団体による11のワークショップ、午後は鹿島敬さん(実践女子大学教授)による講演会「女と男*仕事と生活の良好な関係」が行われ、幅広い層の参加がありました。当日は、天候にも恵まれて終日にぎわいのあるフェスティバルとなりました。以下、講演を聞いての報告です。

当日は、行政、民間など様々な立場の方、約100名が参加されていました。講師の鹿島敬さんからは、まず1999年に公布・施行された男女共同参画社会基本法が10周年という節目を迎え、この間にどのようなことがおきたのか説明していただきました。価値観や経済の枠組みの変化の中で、新たな規範が必要となりうまれてきたのが「男女共同参画」という考え方であり、画期的な法律として注目を浴びた反面、呼称が「長くて堅苦しいのが玉に瑕」と新聞の社説に記載されたり、社会への周知の難しさ、揺り戻し(バックラッシュ)などについて、事例を交えながら紹介していただきました。後半では、これからスタートする第3次男女共同参画基本計画の策定に向けて、この10年で取り組みが進んだ分野、進展していない分野について、また第3次基本計画の争点について詳しく説明していただきました。参加者からは、「男女共同参画社会の状況がわかりやすく、今後の条例や基本計画などに向けて勉強になった」「男女が性別に関係なく、個々の力を発揮できる場(職場)を国、経営者、個人がしっかり考えていかなければならないことを感じた」などの感想があり、基本法が施行されてからの10年間を振り返ることで、男女共同参画社会の実現に向けての活力を得た講演会となりました。

(新潟県女性財団 専門員 木村いほ子)

地域セミナー

今年度、新潟県女性財団が市町村や団体と協働で開催する地域セミナーのスケジュールです。各セミナーの詳細については、当財団のホームページでも随時ご紹介します。

市町村・住民グループ	実施日	内容
新発田市 *好評終了	5月29日	父親の育児休暇体験談
十日町市 *好評終了	6月19日~7月17日(5回)	保育ヘルパー育成セミナー
燕市	6月6日~10月3日(4回)	女性と市長との懇談会に向けて
阿賀野市	9月~10月(3回)	女性のためのエンパワメント
長岡市	9月28日	ワーク・ライフ・バランスのためのワークショップ
刈羽村	10月~11月	保育ヘルパー養成
村上市	11月	ワーク・ライフ・バランス
柏崎市	未定	地域リーダー養成
上越市	未定	エンパワメントセミナー
ファイン(三条市)	7月25日	アフタヌーン・カフェ 一緒に話そう!自分らしさ、あなたらしさ
すてきネット“五泉”(五泉市)	11月21日~12月12日(3回)	自分流 しあわせの見つけ方
はっぴーズコミュ(燕市)	9月2日~9月16日(3回)	がんばっている女性のためのごほうびセミナー
新潟県健康生きがいづくりアドバイザー協議会(見附市)	8月8日~9日(2回)	中高年・男・女の生きがいづくりセミナー

人材育成事業

新潟県女性センターの基幹事業として取り組んでいる人材育成事業についてご案内します。

●「新潟県から男女共同参画の人づくりを！」

新潟県女性財団事業コーディネーター 川端美智子

男女共同参画社会実現に向けた取組みには大きく2つの要素があると思います。ひとつはシステム（法や制度など）を作ること、もうひとつはそれを動かし発展させる人がいることです。

私たちセンターは特にその“人”づくりに大きく寄与できる組織として、これまでたくさんの方の事業（講座、情報提供など）を展開してきました。平成19年度から始まった人材育成事業はそれを効果的に、更に加速的に進めていこうとするものです。私はこの事業の仕組みを作り、それを展開する人づくりをするために関わっています。

全国のどこのセンター事業でも大きな悩みの1つとして“人が育たない”ことがあげられます。もちろん、参加される方々にとっては一つ一つの講座はとても有意義な体験として生活や現場に活かせる価値変容や行動変容に結びついているでしょう。しかし、それがセンター側にとってあまりよく見えない。また、その後の関わりも薄く、継続して学習し、センターと一緒に男女共同参画を進めようとする人も年々少なくなっています。それは何故でしょうか？

それは事業の目的がしっかりと“人づくり”に焦点が当たっていないからです。言い方を変えればその時ヒットしているテーマや、講座担当者の問題意識だけで作られた場当たりの講座になっているからとも言えます。参加者は講座を終えた時、“面白かった、様々なジェンダー問題に気づいた、自分を変えたい、もっとスキルを高めたい、仲間と一緒に地域や組織の課題解決をしたい”といった意欲に燃えます。しかし、センターではその意識を次のステップへつなげる仕掛けが上手くできておらず、そのため今後いい関わりを持ってくれるであろう“人財”をつなぎとめておくことができません。とても残念で、費用対効果の薄い事業を毎年毎年繰り返しているように思えます。事業は方法でしかないのに、事業を実施することが目的化されているからでしょうね。これでは本末転倒です。

人づくりをする事業には、反復、継続、新規性が必要です。それと同時に講座で学んだことがそれぞれの生活や現場でいい結果が出せた！という目に見える効果も必要です。もちろん、楽しいという気持ち、仲間がいるという共有体験と共感性は必須です。その時々に必要な知識や技術が継続的に提供されている、個人の悩みや組織の課題に対して応えられる人がいる、こうした機能を持った人づくりの仕組みが人材育成事業であると私は考えています。

この2年と4ヶ月、センタースタッフ全員で人材育成事業とはどうあるべきか、これまでの事業との兼ね合いはどうするのか、今後の展開はどう実施していくのかを徹底して議論してきました。まずは試みにやってみよう、そこから得られた結果を次へつなげようと努力を重ねてきました。その中からようやく形を見せてきたのがご紹介の事業内容です。

めざすところは、人も組織もジェンダーにとらわれず魅力ある地域、職場づくりをすること。そのために幅広い能力を身につけられる多様な内容にすること、その結果日々の活動や仕事に活かせる実践的で汎用の効くプログラムにします。



魅力的で効果的な10個のポイント！

- ①【必須条件】男女共同参画の視点、行動変容が起きる、技術取得ができる、この3つは絶対条件。そして、楽しく学べる（これは大事！）場を提供する。
- ②【全てのセッションで活用可能】市民活動、企業、行政から個人までどのセッションでも活用できる事例を盛り込む。
- ③【二重構造で高い効果】ベーシック編で基礎を学び、現場での実践期間を経て具体的な問題解決や更なるスキルアップをめざしてフォローアップ編を実施するという2段階構えの方式。
- ④【プログラムを動かす講師陣】男女共同参画の視点を持ち、経験豊かで高い専門性と豊かな人間性を持った楽しい講師陣。特にアフター5の懇親会には大いに期待！
- ⑤【コンサルティング機能】企業の人材育成への要望や、市町村の企画実施に伝えるためのプログラムのアレンジ、講師陣との連絡調整などの導入支援を実施。
- ⑥【次世代の人材育成へつなげる】各コースの修了者が講師陣から“教える技術”を学び、更に広い知識や情報を得た上でセンターと共働しながら次世代の講師として活躍。参加者自身も学んだことを次へ活かせるステップがある。
- ⑦【継続されたプログラム】今年はや定があって行けないという人も、毎年実施されるプログラムなのでこれは安心。
- ⑧【各論と総論、プログラムの運動】それぞれのプログラムは他のプログラムと連動し、問題意識や技術レベルによって様々な角度から学べる内容に。
- ⑨【変化しつづけるプログラム】今後も更に枝葉を伸ばし、柔軟な視点と時代を先取りしたプログラムは完成することなく常にいい変化を続ける。
- ⑩【動かすのは、やはり人！】センターのスタッフが高い専門性と熱意、やる気を持って進める。

男女共同参画社会へはまだまだ道半ば。人材育成事業も歩き始めたばかり。めざすところはとても高いところにあります。でも、全国どこを見てもこれだけの仕組みを動かそう！と意欲に燃え実行しているところはあります。全国では今、男女共同参画の人づくり、組織作りが大変停滞している状況です。私はその再興を新潟県女性センターから！と強く願いつつ、今日もまた大阪から仲間のいる新潟に足を運んでいます。

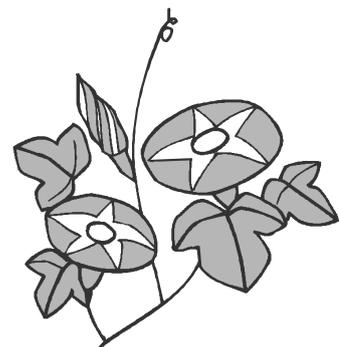
どうぞこの人材育成事業の各コースにおいてください。ここで得られることはあなたの生活や仕事にとって必ず何かの変化を作ることにつながっていくと私は確信しています。

●平成 21 年度人材育成セミナー *詳細は、事業チラシ、当財団ホームページでご確認をお願いします。

テーマ	得られるスキル	開催時期	講師
地域リーダーエンパワメント セミナー *好評終了	・リーダーシップ ・チームビルディング ・コミュニケーション	4月25日 5月30日	川端美智子 新潟県女性財団事業コーディネーター
女性のための講師デビュー *好評終了	・プログラムデザイン ・プレゼンテーション ・論理的思考	6月18日 6月19日	川端美智子 新潟県女性財団事業コーディネーター
ファシリテーション・グラフィックを学ぼう *好評終了	・ファシリテーション・グラフィック ・ワークショップデザイン	7月19日 7月20日	加留部貴行 日本ファシリテーション協会会長
コンフリクト・マネジメント入門	・協調的交渉術 ・コミュニケーション	10月17日 10月18日	鈴木有香 早稲田大学紛争交渉研究所 客員研究員
新しい視点で学ぶ政策立案	・総論 *好評終了	7月17日	広岡守穂 中央大学教授
	・調査票作成	8月25日 8月26日	南村利子 (株) オフィス・オルタナティブ
組織マネジメントセミナー	・協働 ・組織運営 ・パートナーシップ	1月16日 1月17日	堀 公俊 堀公俊事務所代表・組織コンサルタント

●「女性のための講師デビュー」について、報告します。

女性のための講師デビューは「人に伝える・教える」スキルを学ぶことを目的に6月18・19日の2日間にわたり開催したセミナーです。昨年度も行い、反響の大きかった人気のセミナーで、今年度は18人の参加がありました。当財団事業コーディネーターの川端美智子さんを講師に、体験談・失敗談を盛り込み、具体的なスキルとマインドについてお聞きしました。自己研鑽を重ね、自分の体験や知識・情報を整理して必要な時につかえること。集団の力を引き出す仕掛けを持っていること。準備は一所懸命！当日は状況に対応できる柔軟性を持っていることなどが人前に立ち講師を効果的に行う方法です。また、参加者の意識と行動変容を引き出すが大切なポイントとなります。



参加者一人ひとりがプレゼンテーションする姿をビデオ撮影し、顔の表情・声の出し方・姿勢・話の内容などについて客観的に見るとともに、参加者同士でフィードバックしあいました。また、企画したプログラムを6分間実際に講師として話してみるなど、2日間で何度もプレゼンテーションを行いました。そして、批判するのではなくより良い講師をめざしてグループでフィードバックし合い、メンバーの関係性が深まり、相乗効果を生み出していました。

一方的に自分が話したいことを話すだけでは講師ではありません。「相手にどんな反応を起こさせたいのか」2日間のセミナーで何度も川端さんが問いかけました。なぜそれをするのか？だれにどうなってほしいのか？目的を明確にしたプログラムデザインと相手の理解を引き出す問、受講生の状態を把握する観察力など、講師としてのスキルにとどまらず人間力・総合的なスキルの必要性を痛感したセミナーでした。今回の参加者を対象に11月にはフォローアップを行い、より実践に即したスキルアップを目指していきます。
(新潟県女性財団 専門員 小熊洋子)

県からのお知らせ

新潟県では、男性も女性も働きやすく、仕事と家庭生活等の両立ができるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む「ハッピー・パートナー企業（男女共同参画推進企業）」を支援しています。この制度の周知及び企業イメージアップを図ることを目的として、次のような内容でシンボルマークを募集しています。あなたも応募してみませんか。

【募集内容】ハッピー・パートナー企業をイメージさせるシンボルマークで、必ず、「ハッピー・パートナー企業」と「新潟県（漢字以外も可）」の文字を入れてください。

【応募資格】新潟県内在住者（通勤・通学者も可） 【応募期間】7月16日（木）～9月15日（火）

【賞・副賞】・最優秀賞：1点 1万円相当図書カード ・優秀賞：2点 5千円相当図書カード
※応募についての詳細は、新潟県のホームページをご覧ください。

【応募・問合せ先】〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

新潟県県民生活・環境部男女平等社会推進課 電話 025-280-5142（直通）

県内の情報

●第1回上越市男女共同参画推進センター講座

「子どもとの暮らしの中で本当に大切なもの～「正しい」子育てなんて存在しない～」

【日時】平成21年8月1日（土）13:30～16:00 【会場】上越市市民プラザ 第1会議室

【講師】青木 悦さん（教育ジャーナリスト） 【対象】一般市民

【内容】教育ジャーナリストとして、長年子どもたちの現状を見てきた青木悦さんを講師に迎え、子どもたちの姿からみえてくる親の在り方についてお話を伺いながら考えあいます。男女が共にいきいきと子どもと暮らすためにはどうしたらよいでしょうか。

【保育】6か月以上の乳幼児対象 【申込締切】講座・保育ともに7月24日（金）

【申込み・問合せ先】上越市男女共同参画推進センター 電話 025-527-3624

県外の情報

●男女共同参画のための研究と実践の交流促進フォーラム

国立女性教育会館では、「女性のエンパワーメントと男女共同参画社づくり～学ぶ・つながる・広がる・変わる～」をテーマにフォーラムを開催します。基調講演やリレートークなどの他に、全国各地の団体による62のワークショップが行われます。詳細については、下記にお問合せください。

【期日】8月28日（金）～30日（日） 【会場】国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）

【問合せ先】国立女性教育会館事業部 電話 0493-62-6724 URL <http://www.nwec.jp>

●「日本女性会議 2009 さかい」

日本女性会議は、「女性の地位向上」を目的に話しあう全国的な規模の会議で、1995年には新潟市でも開催されました。今年の開催地は堺市。5つの全体会、17の分科会が行われます。参加申し込み等詳細については、下記の日本女性会議2009さかいオフィシャルホームページをご覧ください。

【開催日】10月30日（金）～11月1日（土） 【会場】堺市民会館・リーガロイヤルホテル堺

【問合せ先】日本女性会議2009さかい実行委員会事務局（堺市男女共同参画推進課内）

電話 072-228-7408 URL 2009sakai.jp/

編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail npwf@npwf.jp

ホームページ <http://www.npwf.jp>

